

ちば産学官連携プラットフォーム事業 点検・評価報告書 (2023年度)

(2023年度のプロジェクトの進捗状況、評価等について、記入してください。)

事業計画名	① 単位互換の推進
事業部会名	教育活動連携事業部会
幹事校	淑徳大学
活動指標	千葉市内の高等教育機関の「教育の魅力」を高める。(取組 1)
取組の概要	<p>目標 (達成すべきゴールイメージ) プラットフォームで共同開発する授業科目の実施 2025年度に計 3 科目) ちば産学官連携プラットフォーム参画校及び市内の国公立大学の学生が、地域の特性を活かした授業プログラムを通じて、共に学び、交流しながら、相互に学修成果を高めることができるような工夫を行うことで、千葉市内の高等教育機関の「教育の魅力」を高める。</p> <p>具体的内容 単位互換推奨科目の設定と共同授業科目の開発</p> <p>①単位互換推奨科目に関する共通シラバスを作成し、WEB上で公開する。 ②基盤教育・普遍教育の単位互換制度運用に向けた協議を行う。 ③フィールドワーク等での共同プログラムを開発するとともに、その学修成果をクラウドシステムで共有できる仕組みを検討する。 ④単位互換のためのプログラム開発や、共同利用できる施設・設備も検討する。 ⑤単位互換を利用して他大学の単位を履修する際、CAP制に関する課題について部会で検討する。</p> <p>年次計画 2022年度 単位互換推奨科目： 4 5 科目、共同授業科目： 1 科目 2023年度 単位互換推奨科目： 4 5 科目、共同授業科目： 2 科目 2024年度 単位互換推奨科目： 5 0 科目、共同授業科目： 2 科目 2025年度 単位互換推奨科目： 5 0 科目、共同授業科目： 3 科目</p>

<p>進捗状況</p>	<p>1) 2023 年度には、123 科目の単位互換推奨科目と、共通シラバスを作成し、WEB 上で公開した。</p> <p>2) 基盤教育・普遍教育の単位互換制度運用に向けた協議は検討中である。</p> <p>3) 2022 年度に開講された、参画校の教員によるオンデマンド型授業やフィールドワーク等で構成される共同プログラム「まちづくり論 B (社会資源論 B)」の担当教員が異動となったが、後任の調整が出来なかったため、2023 年度の開講は実現できていない。</p> <p>また、学修成果をクラウドシステムで共有できる仕組みは検討中である。</p> <p>4) プラットフォームで共同利用できる施設・設備の設置は徐々に進んでいるが、単位互換に結び付けた利用やプログラム開発は検討中である。</p> <p>5) 単位互換を利用して他大学の単位を履修する際、CAP 制に関する課題については検討中である。</p>
<p>点検・評価</p>	<p>取り組みの中核である、単位互換推奨科目と共通シラバスの作成については、例年通り、参画校の連携で問題なく進められている。共同プログラムについては、担当教員・科目の調整がつかず、開講が実現できなかったが、2024 年度については、山本運営委員長に働きかけて、淑徳大学での後学期の開講を予定している。科目を用意するとりまとめ校と担当教員の負担が大きいのが課題であるため、輪番制や教育部会以外の参画校にも協力を仰ぎながら、科目の拡大の議論を進める必要がある。</p> <p>「②基盤教育・普遍教育の単位互換制度運用に向けた協議を行う。」、「③その学修成果をクラウドシステムで共有できる仕組みを検討する。」、「④単位互換のためのプログラム開発や、共同利用できる施設・設備も検討する。」、「⑤単位互換を利用して他大学の単位を履修する際、CAP 制に関する課題について部会で検討する。」については、まだ実現がなされていない。これらの課題については、学生の単位互換制度の利用率を増やして、実績ができてからの議論となるので、引き続き運用面について検討を続ける必要がある。</p>

ちば産学官連携プラットフォーム事業 点検・評価報告書 (2023年度)

(2023年度のプロジェクトの進捗状況、評価等について、記入してください。)

事業計画名	②共同 IR 体制の構築と推進
事業部会名	教育活動連携事業部会
幹事校	淑徳大学
活動指標	「教育の魅力」の向上 (取組 2)
取組の概要	<p>目標 (達成すべきゴールイメージ)</p> <p>千葉市内の高等教育の課題を明らかにするために、共同 I R (学生調査等) を実施する。調査結果に基づき、ちば産学官連携プラットフォーム参画校が共同し、連携しながら、千葉市内の高等教育の課題を解決することを目指す。</p> <p>具体的内容</p> <p>ちば産学官連携プラットフォーム参画校の I R 担当者による意見交換、各校に共通項目の調査を行うことで、共同 I R 体制の構築を行う。また、毎年度共同調査を実施し、結果を経年観測する。</p> <p>共同調査の結果は、ちば産学官連携プラットフォーム運営委員会に報告し、プラットフォーム事業計画の実施、評価及び計画策定に活用する。</p> <p>年次計画</p> <p>2022 年度 ①学生意識調査の実施、②卒業時の学生満足度調査の実施</p> <p>2023 年度 ①学生意識調査の実施、②卒業時の学生満足度調査の実施</p> <p>2024 年度 ①学生意識調査の実施、②卒業時の学生満足度調査の実施</p> <p>2025 年度 ①学生意識調査の実施、②卒業時の学生満足度調査の実施</p>
進捗状況	<p>1) 2023 年 4 月～5 月、ちば産学官連携プラットフォーム参画校にて、以下の調査項目について、Google フォームを利用した、学生意識実態を実施して 2546 件の回答が得られている。</p> <p>①産官学連携の教育プログラムを検討する上での学生の希望について</p> <p>②投票経験や住民票異動の有無について</p> <p>③地元就職の希望や就職活動への不安について</p> <p>④ 単位互換や他校の学生との交流について</p>

	<p>⑤ 「千葉開府 900 年記念事業」について 等</p> <p>9 月、千葉市都市アイデンティティ推進課、All 一般社団法人を交えて、教育部会参画校で得られたデータについての情報共有と意見交換を行った。</p> <p>2) 2024 年 3 月現在、ちば産学官連携プラットフォーム参画校の 2023 年度の卒業生を対象に、学生満足度調査を依頼している。卒業時調査を実施していない大学は、教育部会作成の設問フォーマット (Google フォーム) を使用して、卒業時調査を実施している大学は、調査の重複がないように、調査結果の提供を依頼した。</p>
<p>点検・評価</p>	<p>年次計画にある、「①学生意識調査の実施」、「②卒業時の学生満足度調査の実施」を予定通り行った点は評価できる。</p> <p>今後、「①学生意識調査」については、既に各大学毎に例年実施されている学修成果等の教学面のデータを共有して、千葉市や産業界と情報共有、意見交換をすることで、より教育改善につながる取り組みとするべく、検討を行っていく。</p>

ちば産学官連携プラットフォーム事業 点検・評価報告書 (2023年度)

(2023年度のプロジェクトの進捗状況、評価等について、記入してください。)

事業計画名	③産学官・地域連携教育の検討
事業部会名	教育活動連携事業部会
幹事校	淑徳大学
活動指標	千葉市内の高等教育機関の「教育の魅力」を高める。(取組 1)
取組の概要	<p>目標 (達成すべきゴールイメージ)</p> <p>産学官連携やアカデミックリンク活動を通じた学修機会の提供</p> <p>ちば産学官連携プラットフォーム参画校及び市内の国公立大学の学生が、産学連携事業やアカデミックリンクの活動を通じて、共に学び、交流しながら、相互に学修成果を高めることができるような工夫を行うことで、千葉市内の高等教育機関の「教育の魅力」を高める。</p> <p>具体的内容</p> <p>産学官連携事業やアカデミックリンク活動の開発と実施 (2025 年度に計 8 事業)</p> <p>①「千葉市こども若者市役所」の取り組みや、千葉県立生浜高等学校との連携を通じて、高大連携や学生の交流を進めるとともに、大学・短大の施設を地域の拠点としながら、地域や産学官連携活動を推進する。</p> <p>② 社会人のセカンドキャリア形成支援のためのプログラムを開講する。</p> <p>③産学官地域連携教育を推進するための FD・SD 研修会を開催する。</p> <p>④地域における教育活動支援として「市内高等学校への福祉的支援の在り方に関する検討委員会」を推進する。</p> <p>⑤千葉公園エリアマネジメント検討委員を通じて、ちば産学官連携プラットフォームに参加する大学・短期大学の学生の交流機会として、交流イベントをはじめ、研究・活動報告会を開催する。</p> <p>⑥IoT、情報技術等を活用した学修を共同で行う仕組みを構築できるよう、</p>

	<p>オンライン授業・遠隔授業サポート WG を通じて、産業界と協議を行い、実施する。</p> <p>⑦フードバンクちばへ、講演、グループワーク、ボランティア等の体験学習を通じた、プログラムのコーディネートを依頼して、SDGs 学習を実施する。</p> <p>⑧千葉市と連携して、「千葉開府900年に向けて」に関連した取り組みを行う。</p> <p>年次計画</p> <p>2022 年度 6 事業</p> <p>2023 年度 7 事業</p> <p>2024 年度 7 事業</p> <p>2025 年度 8 事業</p>
<p>進捗状況</p>	<p>1) IoT、情報技術等を活用した学修については、新型コロナウイルス感染症の流行拡大に伴い、具体的なプログラムの実施にあたり、産業界との協議が進んでおらず、実施できていない。</p> <p>2) 「千葉市こども若者市役所」の実績は集計中であるが、プラットフォームとしては、千葉市子ども夏休み教室、新たな取り組みである駄菓子屋カフェに協力をして、大学生と地域の子供たちとの交流活動を進めている。</p> <p>3) ちば産学官連携プラットフォームに参加する大学・短期大学の学生の交流機会として、研究・活動報告会は、新型コロナウイルス感染症が沈静化をしているので、現在検討中である。</p> <p>4) 社会人のセカンドキャリア形成支援のための web プログラム、「戦略経営マネジメントスクール 2023」を開講した。</p> <p>5) 産学官地域連携教育を推進するための FD・SD 研修会を 7 回（オンライン WG の 1 回含む）開催した。</p> <p>6) フードバンクちばとは、年 5 回の大学生への食料支援と学生ボランティアの派遣を通じて連携を深めている。講演、グループワーク、ボランティア等の体験学習を通じた、SDGs 学習は今年度調整がつかなかった。</p> <p>7) 千葉市都市アイデンティティ推進課と連携して、Google フォームでの学生実態調査に「千葉開府900年事業」に関連した設問を含めて、結果の共有と意見交換を行った。</p>

点検・評価	<p>新型コロナウイルス感染症も落ち着き、昨年度と比べて、達成した「取組の概要」も少しずつ増えてきている点は評価できる。</p> <p>一方で、コロナにより実施や議論が止まっていた事業、「①IoT、情報技術等を活用した学修を共同で行う仕組みの構築」「学生交流会の実施」について等について、今後実現に向けて議論を進めていく必要がある。</p>
--------------	--

2024年3月28日

ちば産学官連携プラットフォーム事業 点検・評価報告書 (2023年度)

(2023年度のプロジェクトの進捗状況、評価等について、記入してください。)

事業計画名	PF 参加大学・短期大学合同進学説明会
事業部会名	学生募集連携事業部会
幹事校	千葉明德短期大学
活動指標	2. 「学生募集力」の向上 (取組1)
取組の概要	プラットフォームに参加している千葉市内の大学・短大が参加。各校のブースを設置し、個別相談に対応する。参加者は、高校生・保護者等を想定。とくに、千葉市内の大学・短期大学の魅力を知ってもらい、学生募集力の向上につなげていく。
進捗状況	<ul style="list-style-type: none">・2023年4月25日(火)にちば産学官連携プラットフォームとして各ブースを設置し幕張メッセ会場のガイダンスを実施。・2023年5月1日(月)にTKP ガーデンシティ千葉において桜林高等学校の進学ガイダンスを実施。・2023年11月14日(火)に千葉黎明高等学校においての合同進学ガイダンスを実施。・2024年2月26日(月)にTKP ガーデンシティ千葉において桜林高等学校の2回目進学ガイダンスを実施。・2024年3月14日(木)敬愛学園高等学校において合同進学ガイダンスを実施。・2024年3月27日(水)に千葉経済大学・千葉経済大学短期大学部において「いろんな大学・短期大学を知ろう！ちば産学官連携プラットフォーム合同オープンキャンパス」を実施。各学校の学校説明を中心として開催し、個別相談会や面接・奨学金説明会も実施。

点検・評価	<p>中期計画通り進捗している。進学ガイダンスの実施回数は昨年度より増加。昨年度同様プラットフォーム合同オープンキャンパスも実施することができた。昨年度は模擬授業を中心としたイベントだったが、形式を学校説明中心とし各学校の負担減に努めた。動員数を増やすことは前年度同様課題である。企画の時期を早め、告知期間を増やす等改善が必要。</p>
--------------	--

2024年3月28日

ちば産学官連携プラットフォーム事業 点検・評価報告書 (2023年度)

(2023年度のプロジェクトの進捗状況、評価等について、記入してください。)

事業計画名	PF 参加大学・短期大学合同高校訪問
事業部会名	学生募集連携事業部会
幹事校	千葉明德短期大学
活動指標	「学生募集力」の向上 (取組2)
取組の概要	学生募集連携事業部会の担当者を中心に千葉市内の高校において共同での高校訪問を実施。各高校とプラットフォーム各大学・短期大学とのさらなる高大連携や教育政策の促進について意見交換を行うことを目的に実施する。
進捗状況	<p>・2023年9月20日(水)に千葉聖心高校へ合同高校訪問を実施。プラットフォーム加盟校の9校が参加。4部制で各学校から学校案内等や意見交換等を行った。</p> <p>第1部：各大学・短期大学から学校案内等</p> <p>・「学校案内」「入学試験要項」を配布し、各学校の入試情報やオープンキャンパス情報の共有。</p> <p>第2部：千葉聖心高校から現況報告</p> <p>第3部：千葉聖心高校進路指導部から各大学・短期大学へ質問</p> <p>(1) 観点別評価について</p> <p>(2) 入試方法の傾向</p> <p>(3) 学部、学科別の受験者の傾向</p> <p>(4) 検定(英検など)の取得による特待制度等について</p> <p>第4部：各大学・短期大学から桜林高校進路指導部へ質問</p>

点検・評価

昨年度実施できていた、桜林高校との情報交換会が実施できなかったため年間の実施回数が減となった。学生募集環境がさらに厳しくなることが予想されるため、実施済みである千葉聖心高校との関係強化はもちろんのこと、桜林高校含め千葉市内の別の高校へも規模を拡大し、学生募集力を高めることを目指していく。

2024年4月1日

ちば産学官連携プラットフォーム事業 点検・評価報告書 (2023年度)

(2023年度のプロジェクトの進捗状況、評価等について、記入してください。)

事業計画名	「ちばで働く！ 合同会社説明会 2023」
事業部会名	就職支援連携事業部会
幹事校	神田外語大学
活動指標	ビジョン③千葉市内・県内に所在する「地元企業への就職率」向上
取組の概要	2023年5月下旬・10月上旬に実施予定。千葉県経営者協会等と共同での実施。千葉市内・県内の企業20～30社を招へいし、ちば産学官連携プラットフォーム加盟校の大学の学生(2024年3月卒)を中心に合同会社説明会を実施する。形式は対面を前提とし、コロナ等の感染状況によってはオンラインでの開催とする。会場は加盟校の教室等での開催を予定。
進捗状況	2023年6月8日(木)に「千葉の優良企業12社参加！ 合同会社説明会 in ちば」をオンラインで開催した。参加企業は岩渕薬品/NID・MI/新昭和グループ/CMGホールディングス/ヒロハマ/福井電機/ミニストップ/千葉日産自動車/日本企画/三井 E&S システム技研/ユアサ・フナショク/上尾中央医科グループ/の12社。45分の説明会を3回実施。参加者は合計22名。延べ参加者50名
点検・評価	就職支援連携事業部会の中心的な事業である地元企業への就職率向上を目的としたイベント。地元就職については年間を通しての支援が必要であり、学生の参加者は多くはないものの、6月の段階で就職活動をしている4年生と採用活動を継続している企業との接触機会を創出することは重要と考えます。

2024年4月1日

ちば産学官連携プラットフォーム事業 点検・評価報告書 (2023年度)

(2023年度のプロジェクトの進捗状況、評価等について、記入してください。)

事業計画名	千葉県内企業等と大学就職担当者間の情報交換会
事業部会名	就職支援連携事業部会
幹事校	神田外語大学
活動指標	ビジョン③千葉市内・県内に所在する「地元企業への就職率」向上
取組の概要	2023年5月下旬・11月中旬に実施予定。 千葉県内企業の採用担当者と加盟大学の就職担当者との雇用状況、学生の就職活動状況等の情報交換を目的とした情報交換会。5月はインターンシップと4年生の採用状況、11月は4年生の採用状況と翌年度の採用計画を中心に実施する予定。
進捗状況	2023年度は実施を見送った。
点検・評価	準備期間の少なさや準備の遅れから、2023年度は実施を見送りました。 今後については情報交換自体の重要性はあるものの、実施主体、実施時期、実施内容の再検討が必要である。

2024年4月1日

ちば産学官連携プラットフォーム事業 点検・評価報告書 (2023年度)

(2023年度のプロジェクトの進捗状況、評価等について、記入してください。)

事業計画名	顔と名前を出さないWEB相談会
事業部会名	就職支援連携事業部会
幹事校	神田外語大学
活動指標	ビジョン③千葉市内・県内に所在する「地元企業への就職率」向上
取組の概要	年4回実施予定。(2023年6月中旬・9月下旬・10月中旬・翌1月中旬)
進捗状況	2023年10月5日(木)16:30~18:00 オンライン形式にて実施。企業は市内の企業2社(千葉信金・イオンリテール)の採用担当者と内定者が参加。内容は①企業紹介 ②参加学生紹介 ③参加者と内定者のパートで学生が内定者に質問をするといった形式で進行。企業採用担当者と内定者4名+学生及び大学関係者10名で実施を行った。
点検・評価	年4回の実施を予定していたが、1回の実施となった。 各回の参加学生の確保が望んだものではなかった。匿名で参加できるという事に学生のニーズがあると想定していたが、次年度は実施方法の見直しが必要である。2024年度は実施を予定していません。

2024年4月1日

ちば産学官連携プラットフォーム事業 点検・評価報告書 (2023年度)

(2023年度のプロジェクトの進捗状況、評価等について、記入してください。)

事業計画名	ちば仕事研究塾オリジナルインターンシップ
事業部会名	就職支援連携事業部会
幹事校	神田外語大学
活動指標	ビジョン③千葉市内・県内に所在する「地元企業への就職率」向上
取組の概要	2023年8月中旬～下旬に実施予定。 就職支援連携事業部会
進捗状況	2023年度は実施を見送った。
点検・評価	2023年度は準備期間の少なさや準備の遅れから、実施に漕ぎ着けませんでした。 実施時期、実施内容の再検討が必要である。2024年度は実施を予定していません。

2024年4月1日

ちば産学官連携プラットフォーム事業 点検・評価報告書 (2023年度)

(2023年度のプロジェクトの進捗状況、評価等について、記入してください。)

事業計画名	【ちば仕事研究塾 2023】
事業部会名	就職支援連携事業部会
幹事校	神田外語大学
活動指標	ビジョン③千葉市内・県内に所在する「地元企業への就職率」向上
取組の概要	2023年年間を通じて実施予定。千葉県経営者協会・千葉県中小企業家同友会等と共同での実施。千葉市内・県内の5社前後の企業と合同でちば産学官連携プラットフォーム加盟校の大学の学生(2025年3月卒)を対象に業界研究・企業研究・職種研究等と目的としたセミナー【ちば仕事研究塾 2023】を実施する。
進捗状況	2023年9月1日(金)13:30~16:50 オンラインにて実施。参加企業はNAAリテイリング/地域新聞社/米屋の千葉県内に本社を有する3社が参加。3社の事業内容の説明の他、12月に行うビジネスコンテスト CAREER INTERCOLLEGE 2023の各社の提案テーマについて説明を行った。参加学生は80名、その他プラットフォームの各大学の教職員9名も参加。
点検・評価	毎年、学生の参加も多くが期待でき、満足度もかなり高い。 今後の課題としては2023年度は3社とも千葉市以外に本社を有する企業であったため、千葉市の参加企業を増やしていくことが地元企業への就職率向上という活動指標に近づくため、2024年度は千葉市内の企業で実施をしていくことが課題。

2024年4月1日

ちば産学官連携プラットフォーム事業 点検・評価報告書 (2023年度)

(2023年度のプロジェクトの進捗状況、評価等について、記入してください。)

事業計画名	千葉県 27 大学合同企業説明会
事業部会名	就職支援連携事業部会
幹事校	神田外語大学
活動指標	ビジョン③千葉市内・県内に所在する「地元企業への就職率」向上
取組の概要	2024年3月に実施予定。千葉県大学就職指導会主催のイベント協力という形式で実施。 ちば産学官連携プラットフォーム就職支援連携事業部会加盟大学は同時に千葉県の28大学で構成される千葉県大学就職指導会に加盟しており、同団体の主催する【合同企業説明会】(2024年3月幕張メッセ開催)に広報及び職員派遣という形で協力を行う。
進捗状況	2024年3月3日(日)幕張メッセにおいて実施(主催：千葉県大学就職指導会)。就職支援連事業部会は協力として6大学・短大のメンバー全員が参加。当日の説明会には千葉県内に本社・事業所を有する企業69社が参加。参加学生(実数)は393名。
点検・評価	多くの企業が参加し、学生も多数参加し、活動指標を達成するにあたり、非常に効果的なイベントとなった。2024年度は千葉県庁の協力を得ながら実施する予定。

2024年3月31日

ちば産学官連携プラットフォーム事業 点検・評価報告書 (2023年度)

(2023年度のプロジェクトの進捗状況、評価等について、記入してください。)

事業計画名	①「ちば学」リレー講座(重点課題)
事業部会名	生涯学習連携事業部会
幹事校	敬愛大学
活動指標	4.「他世代の学び」の機会の提供(取組2) 共同で運営する社会人向け講座(ちば学)を開催する。
取組の概要	CPF 各参加校から教職員の派遣を受け、千葉(市)に関する様々な分野の講座をリレー講座として市民に提供する。 講座数としては最大12講座程度(月1回程度、土曜日午後)を想定する。 (会場)敬愛大学生涯学習センターを会場とするが、他大学キャンパス及び千葉市生涯学習センター、千葉商工会議所での開催も検討する。 (講師)各校教職員のほか、千葉市および千葉商工会議所からの招聘も推進。
進捗状況	4月～2月の會田、年間11回の「ちば学リレー講座」を企画・実施した。 全講座を対面で行うと同時に、全講座をオンデマンドでも申込者に公開した。 受講者数はのべ157名と減少しているが、受講者の反応は良好である。 包括連携協定を締結する千葉市からも講師を招くとともに、千葉市生涯学習センターとの共催も実現した。
点検・評価	本講座は5年間の実績を重ね、市民の学びの意欲を高める講座を提供できるようになった。コロナ禍明けの影響は残りつつも、一層市民への情報を的確に伝えていくように一層努める必要がある。

2024年3月31日

ちば産学官連携プラットフォーム事業 点検・評価報告書 (2023年度)

(2023年度のプロジェクトの進捗状況、評価等について、記入してください。)

事業計画名	②共同で企画する公開講座・生涯学習講座等の開催 ③千葉市民の自主的な学び促進事業
事業部会名	生涯学習連携事業部会
幹事校	敬愛大学
活動指標	4.「他世代の学び」の機会の提供(取組1) 共同で企画する公開講座・生涯学習講座等を開催する。
取組の概要	(1)CPF 参画校が独自に企画する講座等について、 ●参画校のプラットフォーム共催講座の設定を促進する ●参画校等から、各校の主催する講座に教職員の派遣を促進する。 これらの事業遂行のため、各参画校の講座担当者との連絡強化を図る。 (2)千葉市内の公民館および生涯学習センターにおける千葉市民の自主的な学びを促進するため、千葉市教育委員会および千葉市教育振興財団と連携して、CPF 参画校から人材の紹介・派遣(マッチング)を仲立ちする。
進捗状況	(1)共同で企画する講座は、現在もなお実現していない。 (2)講師マッチングの依頼は増加してきているが、まだ特定の公民館からしか依頼を受けられていないこと、また講師料への配慮が不足していることから、千葉市教育振興財団(公民館指導室)に配慮を求めた。
点検・評価	(1) 未達成 (2) 年間6講座を実現した。

2024年3月31日

ちば産学官連携プラットフォーム事業 点検・評価報告書 (2023年度)

(2023年度のプロジェクトの進捗状況、評価等について、記入してください。)

事業計画名	④防災講話の実施
事業部会名	生涯学習連携事業部会
幹事校	敬愛大学
活動指標	5.地域の課題解決力の向上(取組1)
取組の概要	千葉市の町内自治会や避難所運営委員会、公民館などの活性化に資するため、防災講話への講師を派遣する。ちば産学官連携プラットフォーム中長期計画に基づき、年間4回の派遣をめざす。 内容としては体験型訓練(心肺蘇生法、AED、消火訓練)や防災に関する講演とする。
進捗状況	・稲毛区ボランティアセンター(帝京平成大学:山口先生)を、1件実施した。
点検・評価	生涯学習連携事業部会で事業継承した後、公民館等へ周知が不足しており、依頼は1件に留まった。 市民レベルに本事業の意義が十分伝えられていないように思われることから、次年度は「講師マッチング」「ちば学リレー講座」などとあわせ、プラットフォーム事業の周知への工夫が必要と思われる。

2024年4月8日

ちば産学官連携プラットフォーム事業 点検・評価報告書 (2023年度)

(2023年度のプロジェクトの進捗状況、評価等について、記入してください。)

事業計画名	千葉市内に所在する短期大学が連携することで、産学官連携に関する協力体制、共通問題の認識や情報交換、産・官・4年制大学との連携強化を図る。
事業部会名	短期大学連携ワーキンググループ
幹事校	千葉経済大学・千葉経済大学短期大学部
活動指標	所属4短大の連携強化 プラットフォーム事業への積極的参加
取組の概要	プラットフォーム事業における短大としてのかかわり方、共通問題認識のための情報交換会の開催 短大在学生をプラットフォーム事業に参加促進する方策や協力体制の検討 各短大の特色を生かした支援の検討 新規参入予定の短期大学に対しての情報交換や調整 「短期大学部会」設置に向けた検討
進捗状況	不定期ではあるが、メールにより何度か意見交換を行った。 各校での学内行事などの進捗等、情報交換を行った。 また、他部会の活動支援が中心となりつつある。
点検・評価	「短大として」の枠に捉われ、新規事業を立ち上げるには至っていないところは昨年度とほぼ同じ状況であり、幹事校内での打ち合わせにおいて事業継続について検討を要するのではないかとの意見が出された。一方で意見交換の場としてはWGを継続していくこととしたいとも考えてはいる。 他の部会との兼任をしている委員もいるので、他部会への支援は引き続き行う所存である。(例：教育活動連携事業部会と兼任、食の支援等を実施。)

2024年4月1日

ちば産学官連携プラットフォーム事業 点検・評価報告書 (2023年度)

(2023年度のプロジェクトの進捗状況、評価等について、記入してください。)

事業計画名	子育て支援の連携強化
事業部会名	こども子育て支援連携ワーキンググループ
幹事校	植草学園大学・植草学園短期大学
活動指標	参画校の子育て支援連携会議実施 年4回
取組の概要	<ul style="list-style-type: none">・連携強化のための調査・研究，子育て支援の必要性の掘り起こし，及び必要な支援活動の形態を検討する。・ちば産学官連携プラットフォーム参画校の子育て支援の連携を図る。
進捗状況	2023年度は子育て支援連携会議を6月・9月・11月・2月の計4回実施した。参画校における子育て支援状況を確認。子育て支援施設を置く学校，施設を置かなくても事業において子育て支援を実施する学校など，それぞれの良さを確認することができた。次年度は連携会議を対面として，参画校の子育て支援施設を確認する機会を設けることとした。
点検・評価	年4回の子育て支援連携会議（Zoomで開催）では，参画校それぞれの子育て支援実施状況報告から今後の改善に繋げることができた。また検討している内容を参画校で共有することで，新しい方法を得ることができた。

2024年4月1日

ちば産学官連携プラットフォーム事業 点検・評価報告書 (2023年度)

(2023年度のプロジェクトの進捗状況、評価等について、記入してください。)

事業計画名	子育て支援共同講座の開設・運営 「ちばこども子育てすぽっと」YouTubeチャンネルでの配信
事業部会名	こども子育て支援連携ワーキンググループ
幹事校	植草学園大学・植草学園短期大学
活動指標	子育て講座の共同実施 年6回 (取組2)
取組の概要	子育て支援共同講座の開設・運営 「ちばこども子育てすぽっと」YouTubeチャンネルでの配信 及び子育て支援施設利用者による視聴
進捗状況	①「育ちあいのひろば「たいむ」について」 千葉明德短期大学 池谷 潤子 (8月) ②「トイレットペーパーの芯でつくろう！パクパク人形」 植草学園大学 實川慎子 (10月) ③「親子で楽しむ色水あそび」 植草学園大学 畑山未央 (10月) ④「こどもの主体性とは」 千葉経済大学短期大学部 小倉定枝 (10月) ⑤「お散歩のすすめ」 千葉敬愛短期大学 齋藤 めぐみ (1月) ⑥「植草学園大学・植草学園大学 子育て支援・教育実践センター「こいっくおぐ」に行ってみよう！」 (ショート動画含め4本制作) 植草学園短期大学 教授 久留島太郎 (2月) ※上記講座を子育て支援施設の来所者に放映
点検・評価	対面形式に変わる YouTube チャンネル「ちばこども子育てすぽっと」によるオンデマンドでの子育て講座は、新たに子育て支援施設の紹介も含め、合計6講座開講することができた。

2024年4月4日

ちば産学官連携プラットフォーム事業 点検・評価報告書 (2023年度)

(2023年度のプロジェクトの進捗状況、評価等について、記入してください。)

事業計画名	FD・SD研修会
事業部会名	オンライン授業・遠隔授業サポートワーキンググループ
幹事校	帝京平成大学
活動指標	
取組の概要	ICTを用いた同時双方向型の遠隔授業（オンライン授業）に関することをテーマとした共同のFD又はSDの実施
進捗状況	<p>2023年9月20日（水）にオンライン（Zoom）開催にて、ICT（情報通信技術）を用いた教育改善発表会が開催され、各大学でのICT（情報通信技術）を活用した授業の発表を通じて、大学授業の内容及び方法の改善を図る機会となった。</p> <p>加盟校4大学教員の担当授業による、1. 英語の苦手な学生を対象とした遠隔授業、2. デザインや動画（クロマキー合成）などを取り入れた情報系授業の実践、3. 実技系授業（体育・スポーツ）でのタブレット・スマホを活用する授業、4. Web会議システムを活用した企業とのリモート授業等が紹介され、ICTの利点を活かした具体的な授業の工夫や改善研究が発表された。</p>
点検・評価	<p>新型コロナウイルス感染症の位置づけが「5類感染症」となり、殆どの大学で対面授業に戻ったことにより、同時双方向型の遠隔授業のみならず、ICTを活用した教育の促進を図るFD・SDとなった。</p> <p>今後も「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン（答申）」にあるとおり、ICTを活用した教育の促進のためのFD又はSDを実施していく。</p>

2024年4月5日

ちば産学官連携プラットフォーム事業 点検・評価報告書 (2023年度)

(2023年度のプロジェクトの進捗状況、評価等について、記入してください。)

事業計画名	高等教育機関及び地域におけるデジタル人材養成の課題と解決の模索 ～情報共有から課題解決支援へ～
事業部会名	デジタル人材ワーキンググループ
幹事校	東京情報大学
活動指標	1. 「教育の魅力」の向上 (取組1) 5. 千葉市が抱える課題解決に関わる (取組5)
取組の概要	1) 高等教育機関の課題の情報共有 2) 千葉市のデジタル人材養成支援 を柱に情報交換会、研修会・講習会を通じて、サービス、政策、デジタル人材養成、教育における課題の共有、解決に向けた方策等についてワーキング会員の連携による事業を展開する。
進捗状況	①2023年8月22日に第1回デジタル人材ワーキンググループの会議を開催し、各委員によるデジタル人材ワーキンググループに期待することが述べられた。 ②2023年9月13日に第2回デジタル人材ワーキンググループの会議を開催し、千葉市におけるスマートシティ推進事業等の課題について共有した。
点検・評価	2023年度は参加機関による意見交換を2回実施したのみとなり、具体的な活動を実施することができなかった。2024年度においては、千葉市のスマートシティ推進等の支援や会員の課題解決に寄与する活動に取り組みたい。